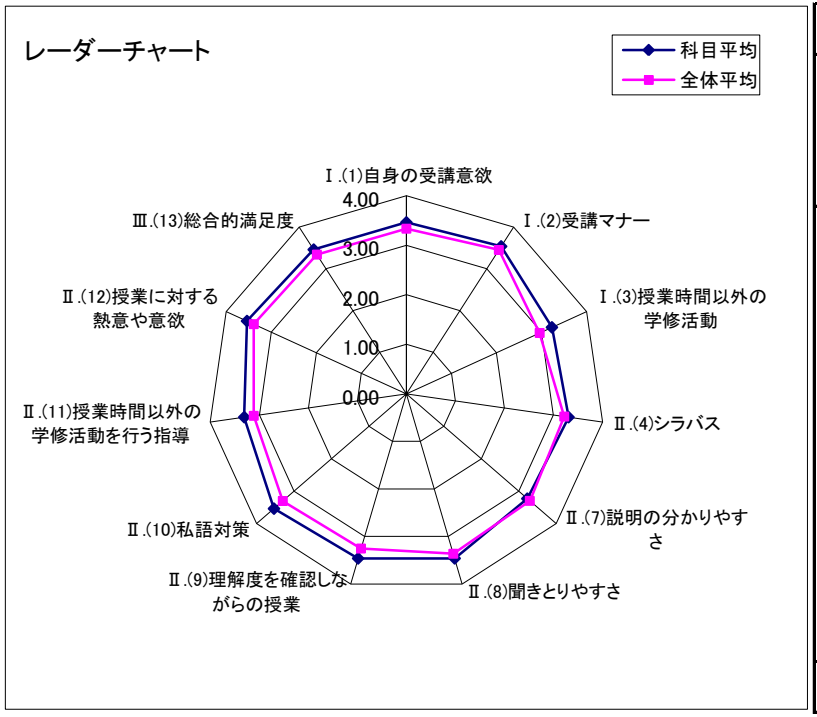
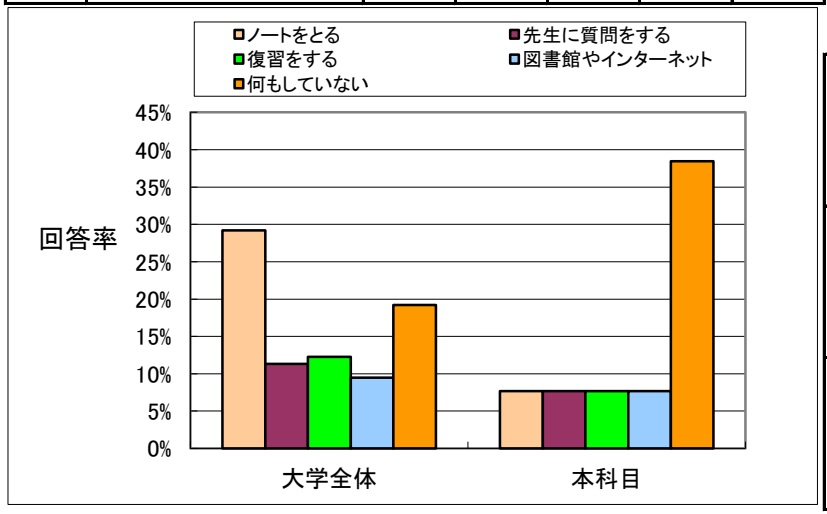
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.46	3.33
	Ⅰ.(2)	3.54	3.45
	Ⅰ.(3)	3.23	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.31	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.23	3.30
	Ⅱ.(8)	3.46	3.36
	Ⅱ.(9)	3.46	3.25
	Ⅱ.(10)	3.54	3.30
	Ⅱ.(11)	3.31	3.11
	Ⅱ.(12)	3.54	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.46	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	38.5%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.41	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.41	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.46	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	2233
科目名	基礎英語Ⅱ／英語コミュニケーションⅡ
教員名	

①授業計画の達成度について

シラバスの授業計画どおり授業運営ができていたかどうかについてであるが、学生の評価は大部分が肯定的なものであり、またこちらとしてもきちんとシラバスどおり進行し終わらせることができた。授業の難易度については学生の意識はほぼ半々に分かれていたようであるが、本学の学生の英語力に大体沿った内容で授業を進めることができたのではないかと思う。

②授業の進め方について

説明の分かりやすさ、聞き取りやすさについては、学生の評価は大部分が肯定的なものであった。学生の理解度を確認できていたかどうかについても、英文を完成させるワークシートを毎回配布し記入させ提出させていたこともあり、おおむね肯定的な評価が得られたと思う。私語など授業環境については、受講者数等の違いからか、クラスによって少し差はあったものの、授業環境は大体守られていたという評価を得られたと思う。学生の授業満足度についても同じくクラスによって差はあったが、学生の評価は大部分が肯定的なものであった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

クラスによっては全体平均をやや下回る項目も少なくはなかったものの、おおむね肯定的な評価は確保できていたのではないかと思う。次年度に向けてではあるが、担当は同じく英語とは言っても、文法項目から入っていく形の基礎英語Ⅱとは異なり、長文の読解に基づく授業となるため、今回のこのアンケート結果の内容がどこまで参考にしていけるのかは分かりづらい部分もあるが、新学期からの新たな授業の準備に少しでも生かしていければと思う。

奈良産業大学